

## 《都道府県の状況》

順位	都道府県	人口10万人 あたり新規陽性者数
1	宮崎県	1233.1
2	佐賀県	1092.4
3	鳥取県	1086.0
4	広島県	1079.0
5	大分県	1070.0
6	山口県	1036.3
7	和歌山県	984.7
<b>8</b>	<b>愛媛県</b>	<b>928.4</b>
9	熊本県	912.7
10	香川県	894.8
11	鹿児島県	866.4
12	三重県	854.7
13	岐阜県	843.8
14	島根県	839.9
15	岡山県	817.9
16	高知県	802.0
17	山梨県	800.4
18	福岡県	781.3
19	長崎県	779.6
20	静岡県	775.4
21	福井県	722.7
22	徳島県	683.3
23	宮城県	664.2
24	茨城県	647.8
25	福島県	601.4
26	愛知県	601.0
27	群馬県	600.7
28	大阪府	599.6
29	兵庫県	592.3
30	栃木県	584.7
31	東京都	576.5
32	奈良県	567.2
33	長野県	555.0
34	石川県	544.4
35	滋賀県	542.9
36	京都府	532.8
37	千葉県	531.8
38	神奈川県	526.7
39	埼玉県	520.3
40	岩手県	520.3
41	新潟県	468.2
42	富山県	466.1
43	沖縄県	458.4
44	青森県	458.3
45	山形県	445.1
46	秋田県	386.3
47	北海道	366.7

全国平均  
638.5

※人口10万人あたり新規陽性者数:1/4までの直近1週間  
(厚生労働省公表「新規陽性者数の推移(日別)」に基づいて算出)

# 病床使用率及び入院患者数の状況（第7波と第8波の比較）

- 病床使用率は、第8波では、第7波のピークを超え、一時は80%まで上昇
- 重症化リスクが高く、介助等が必要な70歳以上の入院患者数も、第7波のピークを上回る水準

	第7波ピーク	現在までの第8波ピーク	本日の状況
病床使用率	71.5%	<b>81.1%</b>	<b>65.6%</b>
入院患者数	296名	382名	309名
うち70歳以上	217名	<b>297名</b>	<b>255名</b>

# インフルエンザとの同時流行に備えた注意事項 —重症化リスクの低い方【小さな子どもや高齢者以外】—

- 風邪症状（発熱、のどの痛み、せきなど）の場合は 救急車の要請や休日夜間の受診は控えて  
※年末年始には、発熱外来で4～5時間待ちも発生
- 事前に準備した抗原検査キットで検査のうえ陽性の場合は 「陽性者登録センター」に登録
- 自己検査でコロナ陰性の場合は、インフルエンザを疑い、可能な限り平日・日中に医療機関を受診
- コロナの 抗原検査キット（国が承認したもの）や 市販薬（解熱鎮痛剤等）の事前準備

# 病床使用率の算出方法及び公表について

- 中国・四国・九州16県の公表方法は次の6通り(複数パターンの使用率公表3県)
- 本県は、「コロナ病床確保により休止している病床の入院患者」も含めて公表  
今後は、「コロナ病床の入院患者」のみを対象とした使用率もあわせて公表

分母	分子	確保病床に入院している患者数	コロナ病棟内で休止している病床の入院患者を含む
		273名	309名
最大確保病床	517床	52.8% (6県)	59.8% (3県)
確保病床	471床	58.0% (8県+今後本県も公表)	65.6% (本県ほか1県)
稼働病床	471床	58.0% (1県)	65.6% (1県)